

第9期

運用報告書(全体版)

プレミアム・カレンシー・オープン (1年決算型) (愛称 金利の羅針盤(1年決算型))

【2017年12月20日決算】

受益者の皆様へ

平素は格別のご愛顧を賜り厚くお礼申し上げます。

皆様の「プレミアム・カレンシー・オープン（1年決算型）（愛称 金利の羅針盤（1年決算型））」は、2017年12月20日に第9期決算を迎えたので、期中の運用状況ならびに決算のご報告を申し上げます。

今後とも、一層のご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。



〒104-0031 東京都中央区京橋2-2-1

お問い合わせは弊社クライアント・サービス部へ
フリーダイヤル ☎ 0120-048-214 (営業日の9:00~17:00)

[ホームページ]

<http://www.okasan-am.jp>



※アクセスにかかる通信料はお客様のご負担となります。
※機種により本サービスをご利用いただけない場合があります。

当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信/海外/債券	
信託期間	2008年10月24日から、原則として無期限です。	
運用方針	高金利通貨マザーファンド（以下、「マザーファンド」といいます。）の受益証券への投資を通じて、世界の通貨の中から相対的に金利の高い8通貨を選定し、主として当該現地通貨建ての短期債券等（国債、州債、政府機関債、政府保証債、国際機関債等）に分散投資することにより、安定した収益の確保と投資信託財産の成長を目指して運用を行います。	
主要投資対象	当ファンド	マザーファンドの受益証券を主要投資対象とします。
	高金利通貨マザーファンド	外貨建ての短期債券等（国債、州債、政府機関債、政府保証債、国際機関債等）を主要投資対象とします。
投資制限	当ファンド	マザーファンドの受益証券への投資割合には制限を設けません。
	高金利通貨マザーファンド	外貨建資産への投資割合には制限を設けません。
分配方針	毎年12月20日（休業日の場合は翌営業日）に決算を行い、原則として、以下の方針に基づき収益分配を行います。 分配対象収益の範囲は、繰越分を含めた経費控除後の配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等の全額とします。繰越分を含めた配当等収益には、マザーファンドの配当等収益のうち、投資信託財産に帰属すべき配当等収益を含むものとします。 分配金額は、委託会社が分配可能額、基準価額水準等を勘案のうえ決定します。 分配可能額が少額の場合や基準価額水準によっては、収益分配を行わないことがあります。	

○最近5期の運用実績

決算期	基準価額			シティ世界国債インデックス (除く日本、ヘッジなし・円ベース)		GBI-EM(ガバメント・ボンド・ インデックス-エマージング・ マーケット)ブロード・ ディバーシファイド指数(円ベース)		債券 組入比率	債券 先物比率	純資産 総額
	(分配落)	税込み 分配金	期中 騰落率	(参考指数)	期中 騰落率	(参考指数)	期中 騰落率			
	円	円	%	ポイント	%	ポイント	%	%	%	百万円
5期(2013年12月20日)	13,220	100	16.3	407.49	24.6	222.886	15.2	88.7	—	1
6期(2014年12月22日)	13,998	100	6.6	479.05	17.6	249.639	12.0	71.4	—	1
7期(2015年12月21日)	11,838	100	△14.7	464.97	△2.9	224.120	△10.2	90.1	—	122
8期(2016年12月20日)	11,122	100	△5.2	441.04	△5.1	230.890	3.0	93.4	—	112
9期(2017年12月20日)	11,440	100	3.8	462.65	4.9	254.145	10.1	91.0	—	115

(注) 基準価額および分配金(税引前)は1万円当たり、基準価額の騰落率は分配金(税引前)込み。

(注) シティ世界国債インデックス(除く日本、ヘッジなし・円ベース)およびGBI-EM(ガバメント・ボンド・インデックス-エマージング・マーケット)ブロード・ディバーシファイド指数(円ベース)は当ファンドの参考指数であり、ベンチマークではありません。シティ世界国債インデックス(除く日本、ヘッジなし・円ベース)およびGBI-EM(ガバメント・ボンド・インデックス-エマージング・マーケット)ブロード・ディバーシファイド指数(円ベース)は、当該日前営業日の現地終値です。

(注) 当ファンドはマザーファンドを組み入れますので、債券組入比率および債券先物比率は実質比率を記載しております。

(注) 債券先物比率=買建比率-売建比率。

○当期中の基準価額と市況等の推移

年月日	基準価額			シティ世界国債インデックス (除く日本、ヘッジなし・円ベース)		GBI-EM(ガバメント・ボンド・ インデックス-エマージング・ マーケット)ブロード・ ディバーシファイド指数(円ベース)		債券 組入比率	債券 先物比率
		騰落率	(参考指数)	騰落率	(参考指数)	騰落率			
(期首) 2016年12月20日	円	%	ポイント	%	ポイント	%	%	%	%
12月末	11,122	—	441.04	—	230.890	—	93.4	—	—
2017年1月末	11,103	△0.2	432.60	△1.9	231.345	0.2	92.7	—	—
2月末	11,139	0.2	429.60	△2.6	232.884	0.9	94.6	—	—
3月末	11,139	0.2	428.19	△2.9	237.815	3.0	92.3	—	—
4月末	10,961	△1.4	432.74	△1.9	237.285	2.8	85.2	—	—
5月末	11,105	△0.2	439.83	△0.3	240.030	4.0	92.4	—	—
6月末	11,392	2.4	450.15	2.1	247.090	7.0	92.8	—	—
7月末	11,434	2.8	450.10	2.1	247.904	7.4	91.6	—	—
8月末	11,407	2.6	453.51	2.8	249.885	8.2	88.5	—	—
9月末	11,511	3.5	459.05	4.1	253.177	9.7	92.2	—	—
10月末	11,336	1.9	459.22	4.1	249.627	8.1	85.6	—	—
11月末	11,419	2.7	458.97	4.1	250.471	8.5	88.6	—	—
(期末) 2017年12月20日	11,540	3.8	462.65	4.9	254.145	10.1	91.0	—	—

(注) 期末基準価額は1万円当たり分配金(税引前)込み、騰落率は期首比。

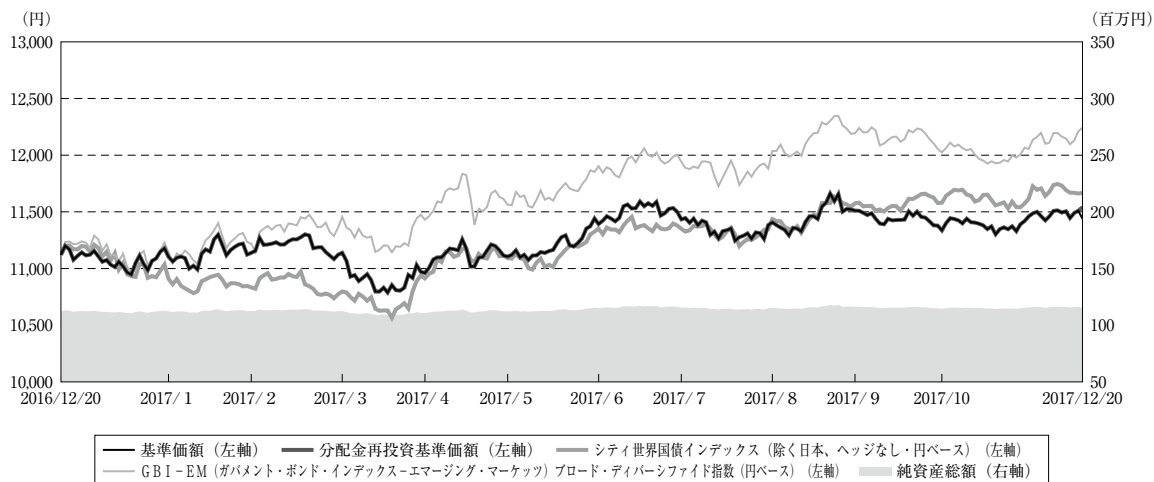
シティ世界国債インデックス(除く日本、ヘッジなし・円ベース)は、Citigroup Index LLCにより開発、算出および公表されている債券インデックスです。

GBI-EM(ガバメント・ボンド・インデックス-エマージング・マーケット)ブロード・ディバーシファイド指数(円ベース)は、J.P.Morgan Securities Inc.が公表している新興国の債券のパフォーマンスを表す指数です。同指数は、J.P.Morgan Securities Inc.が定める条件により選ばれた、政府または政府機関の発行する、新興国の現地通貨建ての債券で構成されている時価総額加重平均指数です。

運用経過

期中の基準価額等の推移

（2016年12月21日～2017年12月20日）



期 首：11,122円

期 末：11,440円（既払分配金（税引前）：100円）

騰落率： 3.8%（分配金再投資ベース）

- (注) 分配金再投資基準価額は、分配金（税引前）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。
- (注) 参考指数は、シティ世界国債インデックス（除く日本、ヘッジなし・円ベース）およびGBI-EM（ガバメント・ボンド・インデックス-エマージング・マーケット）ブロード・ディバーシファイド指数（円ベース）です。
- (注) 分配金再投資基準価額および参考指数は、期首（2016年12月20日）の値が基準価額と同一となるように指数化しております。
- (注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

○基準価額の主な変動要因

当ファンドの主要投資対象である「高金利通貨マザーファンド」における主なプラス要因およびマイナス要因は以下の通りです。

(主なプラス要因)

- ・インドネシアやニュージーランドの債券利回りが低下し、保有債券の価格が上昇したことがプラスとなりました。
- ・ポーランドズロチやマレーシアリングットが対円で上昇したことがプラスとなりました。

(主なマイナス要因)

- ・ニュージーランドドルが対円で下落したことがマイナスとなりました。

投資環境

（2016年12月21日～2017年12月20日）

債券市場は、先進国の中央銀行が金融政策の正常化を急がない姿勢を示したことや、世界的な物価上昇率の鈍さを背景に、投資国の半数以上で債券利回りが低下しました。ただ、メキシコについては、同国中央銀行が段階的に利上げを実施した影響から、債券利回りが上昇しました。

為替市場は、トランプ米政権の政策運営に対する懸念や地政学リスクの高まり等を背景に、2017年4月中旬にかけて、投資通貨の多くが対円で軟調に推移しました。しかし、欧州の政治リスクが後退すると、投資通貨は対円で反発しました。その後も、世界的に株価が堅調に推移するなど、投資家のリスク志向の良好な状態が続く中で、投資通貨の多くが対円で上昇しました。ただ、ニュージーランドドルについては、同国中央銀行が低金利政策の継続を示唆したことや、政権交代に伴う政治不安が意識され、対円で軟調に推移しました。

当ファンドのポートフォリオ

（2016年12月21日～2017年12月20日）

<プレミアム・カレンシー・オープン（1年決算型）（愛称 金利の羅針盤（1年決算型））>

「高金利通貨マザーファンド」の受益証券の組入比率を高位で維持しました。

○高金利通貨マザーファンド

（債券組入比率）

当期間を通じて、高位の組入比率を維持しました。

（通貨別投資比率）

メキシコ、南アフリカ、マレーシア、ポーランド、オーストラリア、ニュージーランド、インドネシア、シンガポールの8カ国の通貨を選定し、相場動向に対応して、投資比率を変化させました。南アフリカランドについては、一部格付け会社が同国の外貨建て長期債務格付けを投資不適格級へ引き下げた際に、一時的に為替ヘッジを行いました。為替ヘッジは既に解消しています。当期間はマレーシアリングットやメキシコペソの比率を比較的高位としました。

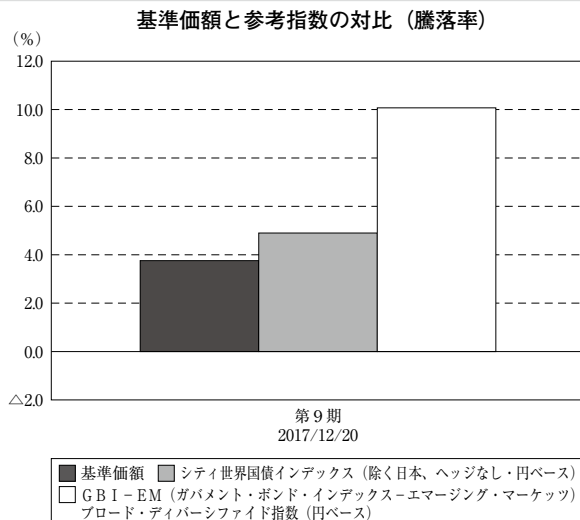
（国別投資比率および年限別投資配分）

メキシコ、南アフリカ、マレーシア、ポーランド、オーストラリア、ニュージーランド、インドネシア、シンガポールの国債に投資しました。当期間におきましては、マレーシア国債やメキシコ国債の比率を比較的高位としました。また、概ね1年以内の年限の債券へ投資を行いました。

当ファンドのベンチマークとの差異

（2016年12月21日～2017年12月20日）

分配金も考慮した当ファンドの基準価額の騰落率は、参考指数としているシティ世界国債インデックス（除く日本、ヘッジなし・円ベース）、G B I - E M（ガバメント・ボンド・インデックス-エマージング・マーケット）ブロード・ディバーシファイド指数（円ベース）のいずれに対しても下回りました。



- (注) 基準価額の騰落率は分配金（税引前）込みです。
 (注) 参考指数は、シティ世界国債インデックス（除く日本、ヘッジなし・円ベース）、G B I - E M（ガバメント・ボンド・インデックス-エマージング・マーケット）ブロード・ディバーシファイド指数（円ベース）です。

分配金

（2016年12月21日～2017年12月20日）

分配対象収益の範囲は、繰越分を含めた経費控除後の配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等の全額としております。当期間におきましては、ファンドの収益力、分配可能額、基準価額水準等を勘案し、1万口当たり100円（税引前）とさせていただきます。なお、収益分配に充てなかった留保益については、運用の基本方針と同一の運用を行ってまいります。

（単位：円、1万口当たり・税引前）

項目	第9期
	2016年12月21日～ 2017年12月20日
当期分配金	100
（対基準価額比率）	0.867%
当期の収益	100
当期の収益以外	-
翌期繰越分配対象額	4,965

（注）対基準価額比率は当期分配金（税引前）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

（注）当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

今後の運用方針

（投資環境の見通し）

債券市場につきましては、先進国の中央銀行が金融政策の正常化を急がない姿勢を示す中、高い利回りを求める需要は依然として根強く残ると予想されることから、利回りが低下に向かうと考えます。

為替市場については、世界経済の回復期待を背景に、投資家心理の良好な状態が続くと予想されることから、投資通貨が対円で概ね底堅く推移すると見えています。

（運用方針）

<プレミアム・カレンシー・オープン（1年決算型）（愛称 金利の羅針盤（1年決算型））>

主要な投資対象である「高金利通貨マザーファンド」の受益証券の組入比率を高位に維持して運用する方針です。

○高金利通貨マザーファンド

世界の通貨の中から、対象国の金利水準のほか、格付け、為替市場や債券市場の見通し、市場流動性等を総合的に判断し、8カ国の通貨を選定して、投資を行う方針です。また、債券投資については、概ね1年以内の年限の債券に投資する方針です。当面は、外貨比率を高位に保ちつつ、マレーシアリングットやメキシコペソの比率を高めに維持する方針です。

○1万口当たりの費用明細

（2016年12月21日～2017年12月20日）

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
	円	%	
(a) 信託報酬 (投 信 会 社) (販 売 会 社) (受 託 会 社)	113 (53) (55) (5)	1.004 (0.475) (0.486) (0.043)	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 委託した資金の運用の対価 交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供等の対価 運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) その他費用 (保 管 費 用) (監 査 費 用) (そ の 他)	24 (22) (1) (1)	0.218 (0.200) (0.013) (0.005)	(b) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用 監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用 その他は、金融商品取引を行う為の識別番号取得費用等
合 計	137	1.222	
期中の平均基準価額は、11,255円です。			

(注) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額において基準価額は円未満切捨て、その他は各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) その他費用は、このファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含まず。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

○売買及び取引の状況

（2016年12月21日～2017年12月20日）

○売買及び取引の状況とは、ファンドが購入・売却した有価証券の数量および金額です。

■ 新投資信託受益証券の設定、解約状況

銘 柄	設 定		解 約	
	口 数	金 額	口 数	金 額
高金利通貨マザーファンド	千口 —	千円 —	千口 2,392	千円 2,210

(注) 単位未満は切捨て。

○利害関係人との取引状況等

（2016年12月21日～2017年12月20日）

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

○自社による当ファンドの設定・解約状況

（2016年12月21日～2017年12月20日）

期首残高（元本）	当期設定元本	当期解約元本	期末残高（元本）	取引の理由
百万円 1	百万円 -	百万円 -	百万円 1	当初設定時における取得

（注）単位未満は切捨て。

○組入資産の明細

（2017年12月20日現在）

親投資信託残高

銘柄	期首(前期末)	当期		期末
	口数	口数	評価額	額
高金利通貨マザーファンド	千口 124,565	千口 122,173	千円 115,013	千円 115,013

（注）口数・評価額の単位未満は切捨て。

○投資信託財産の構成

（2017年12月20日現在）

項目	当期		期末
	評価額	比率	率
高金利通貨マザーファンド	千円 115,013		% 98.2
コール・ローン等、その他	2,131		1.8
投資信託財産総額	117,144		100.0

（注）評価額の単位未満は切捨て。

（注）高金利通貨マザーファンドにおいて、当期末における外貨建純資産（227,613千円）の投資信託財産総額（305,677千円）に対する比率は74.5%です。

（注）外貨建資産は、当期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、邦貨換算レートは1メキシコペソ=5.88円、1ポーランドズロチ=31.84円、1オーストラリアドル=86.51円、1ニュージーランドドル=78.84円、1シンガポールドル=83.86円、1マレーシアリングgit=27.67円、1インドネシアルピア=0.0084円、1南アフリカランド=8.86円です。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況（2017年12月20日現在）

項目	当 期 末
	円
(A) 資産	117,144,140
コール・ローン等	2,130,159
高金利通貨マザーファンド(評価額)	115,013,981
(B) 負債	1,598,350
未払収益分配金	1,010,000
未払信託報酬	580,912
未払利息	3
その他未払費用	7,435
(C) 純資産総額(A-B)	115,545,790
元本	101,000,000
次期繰越損益金	14,545,790
(D) 受益権総口数	101,000,000口
1万口当たり基準価額(C/D)	11,440円

(注) 計算期間末における1口当たりの純資産額は、1,1440円です。

(注) 当ファンドの期首元本額は101,000,000円、期中追加設定元本額は0円、期中一部解約元本額は0円です。

○損益の状況（2016年12月21日～2017年12月20日）

項目	当 期
	円
(A) 配当等収益	△ 246
受取利息	2
支払利息	△ 248
(B) 有価証券売買損益	5,376,688
売買益	5,379,364
売買損	△ 2,676
(C) 信託報酬等	△ 1,157,096
(D) 当期損益金(A+B+C)	4,219,346
(E) 前期繰越損益金	△ 25,237,051
(F) 追加信託差損益金	36,573,495
(配当等相当額)	(36,813,943)
(売買損益相当額)	(△ 240,448)
(G) 計(D+E+F)	15,555,790
(H) 収益分配金	△ 1,010,000
次期繰越損益金(G+H)	14,545,790
追加信託差損益金	36,573,495
(配当等相当額)	(36,813,943)
(売買損益相当額)	(△ 240,448)
分配準備積立金	13,338,786
繰越損益金	△ 35,366,491

(注) 損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は、期末の評価換えによるものを含みます。

(注) 損益の状況の中で(C)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(注) 損益の状況の中で(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定した価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注) 収益分配金

決算期	第9期
(a) 配当等収益(費用控除後)	3,965,679円
(b) 有価証券等損益額(費用控除後、繰越欠損金補填後)	0円
(c) 信託約款に規定する収益調整金	36,813,943円
(d) 信託約款に規定する分配準備積立金	10,383,107円
分配対象収益(a+b+c+d)	51,162,729円
分配対象収益(1万口当たり)	5,065円
分配金額	1,010,000円
分配金額(1万口当たり)	100円

○分配金のお知らせ

1万口当たり分配金(税引前)	100円
支払開始日	2017年12月26日(火)までの間に支払いを開始します。
お支払場所	取得申込みを取扱った販売会社の本支店

<お知らせ>

該当事項はございません。

用語解説

○資産、負債、元本及び基準価額の状況は、期末における資産、負債、元本及び基準価額の計算過程を表しています。主な項目の説明は次の通りです。

項目	説明
資産	ファンドが保有する財産の合計です。
コール・ローン等	金融機関向けの安全性の高い短期貸付運用などの残高です。
各種有価証券等(評価額)	組入れた株式・債券・ファンドなどの評価金額です。
未収入金	入金が予定されている有価証券の売却代金などです。
未取配当金	入金が予定されている株式の配当金等です。
未取利息	入金が予定されているコール・ローン等の利息や債券の利息の合計です。
負債	支払いが予定されている金額の合計です。
未払収益分配金	期末時点で支払いが予定されている収益分配金です。
未払解約金	支払いが予定されている解約金です。
未払信託報酬	支払いが予定されている信託報酬の額です。
その他未払費用	支払いが予定されている監査費用、その他の費用です。
純資産総額(資産－負債)	ファンドが保有する財産の合計から支払いが予定されている金額の合計を差し引いたものです。
元本	ファンド全体の元本残高です。
次期繰越損益金	純資産総額と元本の差額（翌期に繰り越す損益金の合計額）です。
受益権総口数	受益者が保有する受益権口数の合計です。
1(万)口当たり基準価額	1(万)口当たりのファンドの時価です。

用語解説

○損益の状況は、期中にファンドがどのような収益や損失を計上したかを表しています。主な項目の説明は次の通りです。

項目	説明
配当等収益	ファンドが受取った配当金・利息等の合計です。
受取配当金	保有する株式等の配当金等です。
受取利息	債券、コール・ローン等の利息等です。
有価証券売買損益	有価証券の売買損益と期末の評価損益の合計額です。
売買益	売買益と期末評価益の合計です。
売買損	売買損と期末評価損の合計です。
信託報酬等	信託報酬のほか保管費用、監査費用、その他の費用と、それらに掛かる消費税等相当額です。
当期損益金	当期における収支合計です。
前期繰越損益金	前期分の分配準備積立金と繰越損益金の合計額から当期中の解約に対する持分を控除した金額です。
追加信託差損益金	受益者がファンドに払い込んだ金額と元本との差額です。
(配当等相当額)	配当等に相当する額です。
(売買損益相当額)	売買損益に相当する額です。
計	収益分配前の期中の収支の総合計です。
収益分配金	期中の分配可能額から受益者に支払われる分配金です。
次期繰越損益金	翌期に繰り越す損益金の合計です。
追加信託差損益金	翌期に繰り越す追加信託差損益金です。
(配当等相当額)	配当等に相当する額です。
(売買損益相当額)	売買損益に相当する額です。
分配準備積立金	翌期に繰り越す分配準備積立金の額です。
繰越損益金	翌期に繰り越す損益金の額です。

○（参考情報）親投資信託の組入資産の明細

（2017年12月20日現在）

<高金利通貨マザーファンド>

下記は、高金利通貨マザーファンド全体（260,770千口）の内容です。

外国公社債

(A) 外国（外貨建）公社債 種類別開示

区 分	当 期			末				
	額 面 金 額	評 価 額		組 入 比 率	う ち B B 格 以下組入比率	残 存 期 間 別 組 入 比 率		
		外 貨 建 金 額	邦 貨 換 算 金 額			5 年 以 上	2 年 以 上	2 年 未 満
メ キ シ コ	千メキシコペソ 6,000	千メキシコペソ 6,064	千円 35,658	% 14.5	% —	% —	% —	% 14.5
ポ ー ラ ン ド	千ポーランドズロチ 1,000	千ポーランドズロチ 1,008	32,109	13.1	—	—	—	13.1
オ ー ス ト ラ リ ア	千オーストラリアドル 400	千オーストラリアドル 404	35,033	14.3	—	—	—	14.3
ニ ュ ー ジ ー ラ ン ド	千ニューージーランドドル 300	千ニューージーランドドル 311	24,570	10.0	—	—	—	10.0
シ ン ガ ポ ー ル	千シンガポールドル 300	千シンガポールドル 299	25,085	10.2	—	—	—	10.2
マ レ ー シ ア	千マレーシアリンギット 1,500	千マレーシアリンギット 1,506	41,693	17.0	—	—	—	17.0
イ ン ド ネ シ ア	千インドネシアルピア 2,000,000	千インドネシアルピア 2,000,680	16,805	6.8	—	—	—	6.8
南 ア フ リ カ	千南アフリカランド 1,500	千南アフリカランド 1,509	13,375	5.4	—	—	—	5.4
合 計	—	—	224,331	91.4	—	—	—	91.4

(注) 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注) 組入比率は、このファンドが組み入れているマザーファンドの純資産総額に対する評価額の割合。

(注) 額面・評価額の単位未満は切捨て。

(注) 評価については金融商品取引業者、価格情報会社等よりデータを入手しています。

プレミアム・カレンシー・オープン（1年決算型）（愛称 金利の羅針盤（1年決算型））

(B) 外国（外貨建）公社債 銘柄別開示

銘柄	当期					償還年月日
	利率	額面金額	評価額			
			外貨建金額	邦貨換算金額		
メキシコ	%	千メキシコペソ	千メキシコペソ	千円		
国債証券 MEXICAN BONOS 8.5	8.5	6,000	6,064	35,658	2018/12/13	
小計				35,658		
ポーランド		千ポーランドズロチ	千ポーランドズロチ			
国債証券 POLAND GOVT BOND 3.75	3.75	1,000	1,008	32,109	2018/4/25	
小計				32,109		
オーストラリア		千オーストラリアドル	千オーストラリアドル			
国債証券 AUSTRALIAN GOVT. 3.25	3.25	400	404	35,033	2018/10/21	
小計				35,033		
ニュージーランド		千ニュージーランドドル	千ニュージーランドドル			
国債証券 NEW ZEALAND GVT 5	5.0	300	311	24,570	2019/3/15	
小計				24,570		
シンガポール		千シンガポールドル	千シンガポールドル			
国債証券 SINGAPORE GOV' T 0.5	0.5	300	299	25,085	2018/4/1	
小計				25,085		
マレーシア		千マレーシアリンギット	千マレーシアリンギット			
国債証券 MALAYSIA GOVT 3.58	3.58	1,500	1,506	41,693	2018/9/28	
小計				41,693		
インドネシア		千インドネシアルピア	千インドネシアルピア			
国債証券 INDONESIA GOV' T 5.25	5.25	2,000,000	2,000,680	16,805	2018/5/15	
小計				16,805		
南アフリカ		千南アフリカランド	千南アフリカランド			
国債証券 REP SOUTH AFRICA 8	8.0	1,500	1,509	13,375	2018/12/21	
小計				13,375		
合計				224,331		

(注) 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注) 額面・評価額の単位未満は切捨て。

高金利通貨マザーファンド

マザーファンドの運用報告書につきましては、ベビーファンドの運用報告書と作成対象期間が異なる場合には、データ・コメント等に不一致が生じる場合がありますのでご了承ください。

高金利通貨マザーファンド

第9期 運用状況のご報告

決算日：2017年6月20日

「高金利通貨マザーファンド」は、2017年6月20日に第9期の決算を行いましたので、期中の運用状況をご報告申し上げます。

当ファンドの仕組みは次の通りです。

運用方針	世界の通貨の中から相対的に金利の高い8通貨を選定し、主として当該現地通貨建ての短期債券等（国債、州債、政府機関債、政府保証債、国際機関債等）に分散投資することにより、安定した収益の確保と投資信託財産の成長を目指して運用を行います。
主要投資対象	外貨建ての短期債券等（国債、州債、政府機関債、政府保証債、国際機関債等）を主要投資対象とします。
投資制限	外貨建資産への投資割合には制限を設けません。

○最近5期の運用実績

決算期	基準価額		シティ世界国債インデックス (除く日本、ヘッジなし・円ベース) (参考指数)		GBI-EM(ガバメント・ボンド・ インデックス-エマージング・ マーケット)ブロード・ ディバーシファイド指数(円ベース) (参考指数)		債券組入 比率	債券先物 比率	純資産 総額
	期中 騰落率	騰落率	期中 騰落率	騰落率	期中 騰落率	騰落率			
5期(2013年6月20日)	円	%	ポイント	%	ポイント	%	%	%	百万円
	9,214	18.8	368.12	26.8	210.864	26.5	91.3	—	296
6期(2014年6月20日)	10,193	10.6	415.31	12.8	229.992	9.1	92.1	—	269
7期(2015年6月22日)	10,441	2.4	474.43	14.2	248.581	8.1	87.8	—	356
8期(2016年6月20日)	8,364	△19.9	420.92	△11.3	207.699	△16.4	95.0	—	256
9期(2017年6月20日)	9,164	9.6	442.81	5.2	243.995	17.5	93.2	—	251

(注) 基準価額は1万円当たり。

(注) シティ世界国債インデックス（除く日本、ヘッジなし・円ベース）およびGBI-EM（ガバメント・ボンド・インデックス-エマージング・マーケット）ブロード・ディバーシファイド指数（円ベース）は当ファンドの参考指数であり、ベンチマークではありません。シティ世界国債インデックス（除く日本、ヘッジなし・円ベース）およびGBI-EM（ガバメント・ボンド・インデックス-エマージング・マーケット）ブロード・ディバーシファイド指数（円ベース）は、当該日前営業日の現地終値です。

(注) 債券先物比率=買建比率-売建比率。

シティ世界国債インデックス（除く日本、ヘッジなし・円ベース）は、Citigroup Index LLCにより開発、算出および公表されている債券インデックスです。

GBI-EM（ガバメント・ボンド・インデックス-エマージング・マーケット）ブロード・ディバーシファイド指数（円ベース）は、J.P.Morgan Securities Inc.が公表している新興国の債券のパフォーマンスを表す指数です。同指数は、J.P.Morgan Securities Inc.が定める条件により選ばれた、政府または政府機関の発行する、新興国の現地通貨建ての債券で構成されている時価総額加重平均指数です。

○当期中の基準価額と市況等の推移

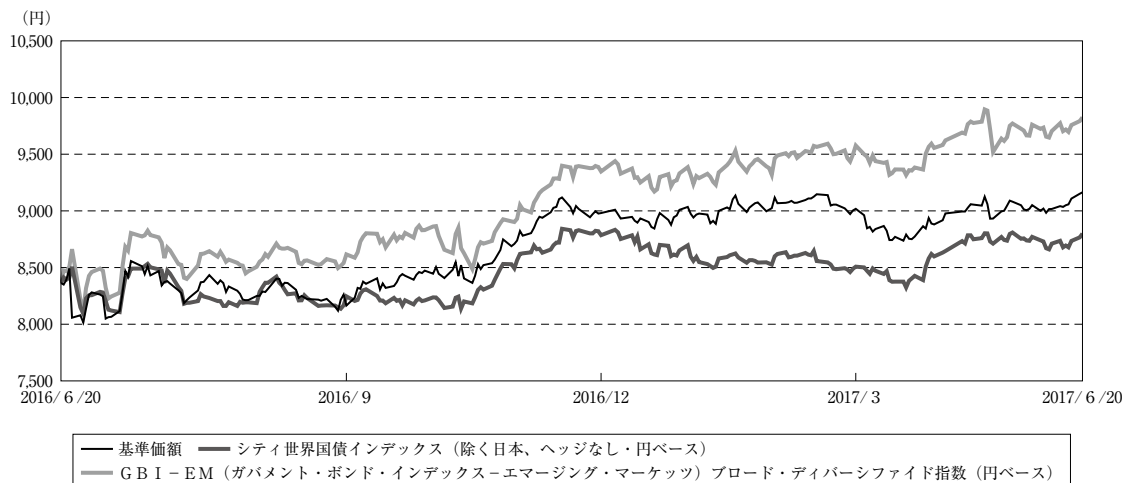
年 月 日	基 準 価 額		シ テ イ 世 界 国 債 イ ン デ ッ ク ス (除 く 日 本 、 ヘ ッ ジ な し ・ 円 ベ ー ス)		G B I - E M (ガ バ メ ン ト ・ ボ ン ド ・ イ ン デ ッ ク ス - エ マ ー ジ ン グ ・ マ ー ケ ッ ツ) プ ロ ー ド ・ デ ィ バ ー ジ フ ァ イ ド 指 数 (円 ベ ー ス)		債 券 組 入 比 率	債 券 先 物 比 率
	騰 落 率	(参考指数)	騰 落 率	(参考指数)	騰 落 率	(参考指数)		
(期 首) 2016年6月20日	円 8,364	% —	ポイント 420.92	% —	ポイント 207.699	% —	% 95.0	% —
6月末	8,259	△1.3	415.45	△1.3	209.252	0.7	95.5	—
7月末	8,359	△0.1	425.08	1.0	214.867	3.5	88.3	—
8月末	8,289	△0.9	419.02	△0.5	212.842	2.5	93.8	—
9月末	8,165	△2.4	415.00	△1.4	213.958	3.0	86.9	—
10月末	8,446	1.0	414.55	△1.5	220.077	6.0	94.8	—
11月末	8,738	4.5	431.00	2.4	221.746	6.8	90.0	—
12月末	8,981	7.4	442.15	5.0	232.136	11.8	94.0	—
2017年1月末	8,974	7.3	432.60	2.8	231.345	11.4	93.2	—
2月末	9,010	7.7	429.60	2.1	232.884	12.1	95.0	—
3月末	9,018	7.8	428.19	1.7	237.815	14.5	92.7	—
4月末	8,880	6.2	432.74	2.8	237.285	14.2	85.5	—
5月末	9,006	7.7	439.83	4.5	240.030	15.6	92.8	—
(期 末) 2017年6月20日	9,164	9.6	442.81	5.2	243.995	17.5	93.2	—

(注) 騰落率は期首比。

運用経過

期中の基準価額等の推移

(2016年6月21日～2017年6月20日)



(注) 参考指数は、シティ世界国債インデックス（除く日本、ヘッジなし・円ベース）およびGBI-EM（ガバメント・ボンド・インデックス-エマージング・マーケット）ブロード・ディバーシファイド指数（円ベース）です。

(注) 参考指数は、期首（2016年6月20日）の値が基準価額と同一となるように指数化しております。

○基準価額の主な変動要因

当ファンドにおける主なプラス要因およびマイナス要因は以下の通りです。

(主なプラス要因)

- ・インドネシアや南アフリカの債券利回りが低下し、保有債券の価格が上昇したことがプラスとなりました。他の投資国の債券についても、利回りが上昇したものの、保有債券価格の下落を上回る利息収入を獲得できたことがプラスとなりました。
- ・トルコリラを除く投資通貨が対円で上昇したことがプラスとなりました。

(主なマイナス要因)

- ・トルコリラが対円で下落したことが、マイナスとなりました。

投資環境

(2016年6月21日～2017年6月20日)

債券市場は、英国の欧州連合（EU）離脱決定等を受けて、2016年7月上旬にかけて、世界的に債券利回りが低下基調を辿りました。しかしその後は、先進国中心に景気の改善を示す指標の発表が相次いだことや、トランプ米大統領誕生による政策期待を背景に、米国主導で債券利回りが急上昇しました。2017年以降は、トランプ米政権が掲げる経済政策の実施が遅れるとの思惑や、米国の利上げが緩やかなペースで実施されるとの観測等を背景に、米長期金利が低下した影響を受けて、投資国の多くで債券利回りが低下しました。

為替市場は、英国のEU離脱決定を受けて、投資家のリスク回避姿勢が強まり、2016年7月上旬にかけて投資通貨が対円で軟調に推移しました。しかし、トランプ米大統領が掲げる政策への期待が高まり、ドルが対円で急上昇すると、投資通貨も対円で急反発しました。2017年以降は、トランプ米政権の政策運営に対する懸念等を背景に、2017年4月中旬にかけて、投資通貨の多くが対円で軟調に推移しました。しかし、欧州の政治リスクが後退すると、投資通貨は対円で反発しました。

当ファンドのポートフォリオ

(2016年6月21日～2017年6月20日)

(債券組入比率)

当期間を通じて、高位の組入比率を維持しました。

(通貨別投資比率)

2016年9月まではメキシコ、南アフリカ、マレーシア、ポーランド、トルコ、オーストラリア、ニュージーランド、インドネシアの8カ国の通貨を選定し、相場動向に対応して、投資比率を変化させました。しかし、その後、トルコ国債が投資不適格級へ格下げされたことから、トルコからシンガポールへの入替えを行いました。また、メキシコペソや南アフリカランドに対して一時的に為替ヘッジを行うなどの対応を図りました。当期間はメキシコペソやポーランドズロチの比率を比較的高位としました。

(国別投資比率および年限別投資配分)

メキシコ、南アフリカ、マレーシア、ポーランド、トルコ、オーストラリア、ニュージーランド、インドネシアの国債に投資していましたが、2016年9月から10月にかけて、トルコからシンガポールへの入替えを行いました。当期間におきましては、メキシコ国債やポーランド国債の比率を比較的高位としました。また、概ね1年以内の年限の債券へ投資を行いました。

当ファンドのベンチマークとの差異

(2016年6月21日～2017年6月20日)

当ファンドの基準価額の騰落率は、参考指数としているシティ世界国債インデックス（除く日本、ヘッジなし・円ベース）に対して上回る一方、GBI-EM（ガバメント・ボンド・インデックス・エマージング・マーケット）ブロード・ディバーシファイド指数（円ベース）に対しては下回りました。

今後の運用方針

(投資環境の見通し)

債券市場につきましては、米連邦準備制度理事会（F R B）の金融政策の正常化に向けた動きが概ね見通せるようになり、投資家のリスク志向の積極化が予想されることや、米国の物価上昇圧力の鈍さが意識され、米長期金利が上昇しにくい状況が続くと見込まれることから、比較的債券利回りの高い投資国を中心に、利回りに低下圧力が残る展開が想定されます。

為替市場については、世界的な景気回復期待を背景に、投資家心理の良好な状態が続くと予想されることや、日銀の金融緩和政策に支えられ、高金利通貨を中心に投資通貨が対円で底堅く推移すると見えています。

(運用方針)

世界の通貨の中から、対象国の金利水準のほか、格付け、為替市場や債券市場の見通し、市場流動性等を総合的に判断し、8ヵ国の通貨を選定して、投資を行う方針です。また、債券投資については、概ね1年以内の年限の債券に投資する方針です。当面は、外貨比率を高位に保ちつつ、メキシコペソやポーランドズロチの比率を高め維持する方針です。

○1万口当たりの費用明細

(2016年6月21日～2017年6月20日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) そ の 他 費 用 (保 管 費 用)	18 (17)	0.202 (0.197)	(a) その他費用=期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用 その他は、金融商品取引を行う為の識別番号取得費用等
(そ の 他)	(0)	(0.005)	
合 計	18	0.202	
期中の平均基準価額は、8,677円です。			

(注) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額において基準価額は円未満切捨て、その他は各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

○売買及び取引の状況

(2016年6月21日～2017年6月20日)

公社債

		買 付 額	売 付 額
外	メキシコ	千メキシコペソ 3,263	千メキシコペソ 3,038
	トルコ	千トルコリラ —	千トルコリラ 901
	ポーランド	千ポーランドズロチ 1,532	千ポーランドズロチ (304 700)
	オーストラリア	千オーストラリアドル —	千オーストラリアドル 100
	ニュージーランド	千ニュージーランドドル 104	千ニュージーランドドル 103
	シンガポール	千シンガポールドル 600	千シンガポールドル (300)
	マレーシア	千マレーシアリングット 1,216	千マレーシアリングット (1,200)
	インドネシア	千インドネシアルピア 2,040,900	千インドネシアルピア (1,000,000)
	南アフリカ	千南アフリカランド 7,045	千南アフリカランド 5,716 (5,400)
国			

(注) 金額は受渡代金。（経過利子分は含まれておりません。）

(注) 単位未満は切捨て。

(注) () 内は償還等による増減分で、上段の数字には含まれておりません。

○利害関係人との取引状況等

(2016年6月21日～2017年6月20日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

○組入資産の明細

(2017年6月20日現在)

外国公社債

(A) 外国(外貨建)公社債 種類別開示

区 分	当 期			末				
	額 面 金 額	評 価 額		組 入 比 率	う ち B B 格 以 下 組 入 比 率	残 存 期 間 別 組 入 比 率		
外 貨 建 金 額		邦 貨 換 算 金 額	5 年 以 上			2 年 以 上	2 年 未 満	
メ キ シ コ	千メキシコペソ 6,000	千メキシコペソ 6,023	千円 37,467	% 14.9	% —	% —	% —	% 14.9
ポ ー ラ ン ド	千ポーランドズロチ 1,500	千ポーランドズロチ 1,527	45,095	17.9	—	—	—	17.9
オ ー ス ト ラ リ ア	千オーストラリアドル 400	千オーストラリアドル 400	34,020	13.5	—	—	—	13.5
ニ ュ ー ジ ー ラ ン ド	千ニューージーランドドル 400	千ニューージーランドドル 407	32,928	13.1	—	—	—	13.1
シ ン ガ ポ ー ル	千シンガポールドル 300	千シンガポールドル 298	24,047	9.6	—	—	—	9.6
マ レ ー シ ア	千マレーシアリンギット 1,200	千マレーシアリンギット 1,203	31,401	12.5	—	—	—	12.5
イ ン ド ネ シ ア	千インドネシアルピア 2,000,000	千インドネシアルピア 2,006,320	16,853	6.7	—	—	—	6.7
南 ア フ リ カ	千南アフリカランド 1,500	千南アフリカランド 1,501	12,913	5.1	—	—	—	5.1
合 計	—	—	234,726	93.2	—	—	—	93.2

(注) 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注) 組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合。

(注) 額面・評価額の単位未満は切捨て。

(注) 評価については金融商品取引業者、価格情報会社等よりデータを入手しています。

高金利通貨マザーファンド

(B) 外国（外貨建）公社債 銘柄別開示

銘柄	当期					償還年月日
	利率	額面金額	評価額			
			外貨建金額	邦貨換算金額		
メキシコ	%	千メキシコペソ	千メキシコペソ	千円		
国債証券	MEXICAN BONOS 7.75	7.75	6,000	6,023	37,467	2017/12/14
小計					37,467	
ポーランド			千ポーランドズロチ	千ポーランドズロチ		
国債証券	POLAND GOVT BOND 3.75	3.75	1,500	1,527	45,095	2018/4/25
小計					45,095	
オーストラリア			千オーストラリアドル	千オーストラリアドル		
国債証券	AUSTRALIAN GOVT. 4.25	4.25	400	400	34,020	2017/7/21
小計					34,020	
ニュージーランド			千ニュージーランドドル	千ニュージーランドドル		
国債証券	NEW ZEALAND GVT 6	6.0	400	407	32,928	2017/12/15
小計					32,928	
シンガポール			千シンガポールドル	千シンガポールドル		
国債証券	SINGAPORE GOV' T 0.5	0.5	300	298	24,047	2018/4/1
小計					24,047	
マレーシア			千マレーシアリンギット	千マレーシアリンギット		
国債証券	MALAYSIA GOVT 4.012	4.012	1,200	1,203	31,401	2017/9/15
小計					31,401	
インドネシア			千インドネシアルピア	千インドネシアルピア		
国債証券	INDONESIA GOV' T 10	10.0	2,000,000	2,006,320	16,853	2017/7/15
小計					16,853	
南アフリカ			千南アフリカランド	千南アフリカランド		
国債証券	REP SOUTH AFRICA 8.25	8.25	1,500	1,501	12,913	2017/9/15
小計					12,913	
合計					234,726	

(注) 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注) 額面・評価額の単位未満は切捨て。

○投資信託財産の構成

(2017年6月20日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
公 社 債	千円 234,726	% 93.2
コ ー ル ・ ロ ー ン 等 、 そ の 他	17,011	6.8
投 資 信 託 財 産 総 額	251,737	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

(注) 当期末における外貨建純資産(239,744千円)の投資信託財産総額(251,737千円)に対する比率は95.2%です。

(注) 外貨建資産は、当期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、邦貨換算レートは1メキシコペソ=6.22円、1ポーランドズロチ=29.53円、1オーストラリアドル=84.87円、1ニュージーランドドル=80.71円、1シンガポールドル=80.57円、1マレーシアリングギット=26.10円、1インドネシアルピア=0.0084円、1南アフリカランド=8.60円です。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2017年6月20日現在)

項 目	当 期 末
(A) 資産	251,737,308 円
コール・ローン等	14,830,307
公社債(評価額)	234,726,346
未収利息	1,873,765
前払費用	306,890
(B) 負債	106
未払利息	21
その他未払費用	85
(C) 純資産総額(A-B)	251,737,202
元本	274,707,850
次期繰越損益金	△ 22,970,648
(D) 受益権総口数	274,707,850口
1万口当たり基準価額(C/D)	9,164円

(注) 純資産総額が元本総額を下回っており、その差額は22,970,648円です。

(注) 計算期間末における1口当たりの純資産額は、0.9164円です。

(注) 当ファンドの期首元本額は306,828,642円、期中追加設定元本額は486,441円、期中一部解約元本額は32,607,233円です。

(注) 当親ファンドを投資対象とする投資信託の当期末元本額は、以下の通りです。

プレミアム・カレンシー・オープン (毎月決算型) (愛称 金利の羅針盤)	150,812,399円
プレミアム・カレンシー・オープン (1年決算型)	123,895,451円

○損益の状況 (2016年6月21日～2017年6月20日)

項 目	当 期
(A) 配当等収益	14,100,288 円
受取利息	14,107,613
支払利息	△ 7,325
(B) 有価証券売買損益	9,158,129
売買益	20,566,803
売買損	△11,408,674
(C) その他費用等	△ 505,810
(D) 当期損益金(A+B+C)	22,752,607
(E) 前期繰越損益金	△50,184,047
(F) 追加信託差損益金	△ 86,441
(G) 解約差損益金	4,547,233
(H) 計(D+E+F+G)	△22,970,648
次期繰越損益金(H)	△22,970,648

(注) 損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は、期末の評価換えによるものを含みます。

(注) 損益の状況の中で(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定した価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注) 損益の状況の中で(G)解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。

<お知らせ>

該当事項はございません。